

報道関係各位

2026 年 10 月 7 日

東京エレクトロン デバイス株式会社

AI エージェントセキュリティ・プラットフォーム「Zenity」の国内販売代理店契約を締結

～AI エージェントの安全な導入・運用を支援～

東京エレクトロン デバイス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:宮本 隆義、以下 TED)は、Zenity Ltd.(ゼニティ、Co-Founder & CEO: Ben Kliger、以下 Zenity)と販売代理店契約を締結し、AI エージェント専用のセキュリティ・プラットフォームを 2026 年 10 月 7 日より販売開始します。

URL: <https://cn.teldevice.co.jp/maker/zenity/>



■背景

昨今、企業における生成 AI の活用は、チャットボットのような応答型 AI から、業務プロセスを自律的に遂行する AI エージェントへと急速に発展しています。開発ツールやプラットフォームの進化により、IT 部門や開発者だけでなく、業務部門の担当者も AI エージェントを構築・活用できるようになり、AI エージェント開発の民主化が進んでいます。一方で、AI エージェントの利用拡大に伴い、意図しないデータアクセスや権限逸脱、不適切な外部サービス連携など、新たなガバナンスやセキュリティ上の課題も顕在化しています。特に、自律的に判断・行動する AI エージェントについては、従来の ID 管理やアクセス制御だけでは十分な統制が難しく、エージェントの行動や判断を可視化・制御するしくみへのニーズが高まっています。TED は、AI エージェントの利用拡大に伴って生じる新たなセキュリティ課題への対応が不可欠と認識しており、AI エージェントの可視化から制御、検知・対応までを包括的に提供できる点を評価し、Zenity の取り扱いを決定しました。

■AI エージェントセキュリティ・プラットフォーム「Zenity」の概要

Zenity は、自律型 AI のための業界初の AI セキュリティ・プラットフォームを提供しており、SaaS、クラウド、エンドポイント環境全体にわたって AI エージェントを保護するために設計されています。エージェントの発見やポスチャー管理から、リアルタイムでの検知・防止・対応までをエンドツーエンドでカバーします。Zenity は、エージェントの意図、挙動、アクセス権限、行動を分析し、運用時のリスクを特定してアクセス権限や利用範囲を制御します。

① Surface(可視化)

企業全体にわたって AI エージェントを継続的に発見・棚卸しし、そのエクスポージャーをマッピングすることで、リスクの高いエージェントや攻撃経路、セキュリティ態勢における課題を特定します。

② Enforce(ランタイム制御)

Runtime Boundaries は、意思決定レイヤーにおいてエージェントのあらゆる意図と行動をリアルタイムで評価し、リスクのある、または意図しない行動がビジネスに影響を及ぼす前に、ポリシーを適用します。

③ Respond(検知と対応)

エージェントの活動を継続的に検知・調査し、セキュリティチームが発生した事象を把握するとともに、脅威の封じ込めや、不審または逸脱したエージェント挙動への対応を可能にします。さらに、自動封じ込めにより被害範囲を最小化し、根本原因を新たなセキュリティ境界として組み込むことで、同様の脅威が再び悪用されることを防ぎます。

■AI エージェントセキュリティプラットフォーム「Zenity」の特長

Zenity は、開発・導入からランタイムまで、エージェントのライフサイクル全体にわたって継続的な AI エージェントセキュリティを提供します。

- SaaS・クラウド・エンドポイントにわたる統合的な可視化と保護
- エージェントの行動・アクセス先・利用するツールに着目した、エージェント中心の検知と制御
- Runtime Boundaries によるランタイムポリシーの適用により、リスクのある、または意図しないエージェントの行動を、ビジネスに影響が及ぶ前に防止
- Fortune 500 企業を含むグローバル企業への豊富な導入実績に裏打ちされた高い信頼性

■今後の展開

TED は、AI 活用による業務変革の推進と、その安全な運用の両立を支援しています。生成 AI の活用がチャットでの利用から AI エージェントの活用へと進展する中、Zenity の提供に加え、導入・検証支援や技術サポートを通じて、AI エージェントのセキュリティ・ガバナンス課題の解決に貢献します。TED は今後も、単一製品の販売ではなく、お客様の AI 活用の進展に応じて最適なソリューションを組み合わせ提供し、AI 活用を支えるデジタル基盤とセキュリティの強化に取り組んでまいります。

■Zenity 社からのコメント

AI エージェントは急速に企業の中核的なワークフローに組み込まれつつあり、重要なシステムやデータに対して意思決定や行動を行っています。これは、従来とは異なるセキュリティ上の課題を生み出します。東京エレクトロンデバイス様は、日本において高い技術的専門知識と、エンタープライズ顧客との強固な信頼関係を築いています。両社は、自律型 AI を大規模かつ安全に運用するために必要な可視化、ランタイム制御、脅威対応機能を提供することで、日本企業による自律型 AI の導入を支援していきます。

Harrison Johnson
VP, Business Development
Zenity Ltd.

Zenity Ltd.について

2021 年設立の Zenity Ltd.は、AI エージェント向けに専用設計された初のセキュリティ・ガバナンスプラットフォームです。米国ニューヨークに本社を置き、あらゆる環境にわたってエージェントを継続的に棚卸しし、エクスポージャーをマッピングして、リスクのある、または意図しない行動を防止するための境界を適用します。AI エージェントセキュリティ分野のリーダーとして、Zenity は Fortune 500 企業を含むグローバル企業に導入されています。

URL: <https://zenity.io/>

東京エレクトロン デバイス株式会社について

東京エレクトロンデバイスは、メーカーと技術商社の力で潜在的な社会課題を解決する会社を目指し、半導体や IT を中心とする最先端テクノロジーの社会実装を推進しています。技術商社として培った先進的な製品・サービスの発掘、メーカー機能の強化による革新的なソリューションの開発を通じて、超スマート社会の実現と持続的な発展に貢献します。

URL: <https://www.teldevice.co.jp/>

<報道関係からのお問い合わせ先>

東京エレクトロン デバイス株式会社 マーケティングコミュニケーション部 広報グループ

お問い合わせフォーム: <https://www.teldevice.co.jp/cgi-bin/form/contact.php>

<本製品に関するお客様からのお問い合わせ先>

東京エレクトロン デバイス株式会社 CN BU Zenity 製品担当

お問い合わせフォーム: <https://cn.teldevice.co.jp/product/zenity/form.html>

※このニュースリリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。